

# 災害に備えるための

## プログラム参加者・研究協力者を募集しています！

電気・ガス・水が使えない時、  
保温、排泄処理、衛生・清潔  
は、どうする？

妊婦さんや赤ちゃんは  
安全に避難できる？

災害が起きた後、  
妊婦さんの把握、  
ケアをどうする？

病棟は安全？

災害時に役立つ  
地域にある資源は？



妊婦さんに、  
災害に備えるよう、何を、  
どのように伝える？

近い将来、起こると言われている災害に対応できるように、今できる備えをしておきたいものです。そこで、災害に備えるためのプログラムを企画しました。他施設の取り組みも参考にしながら、一緒に備えていきませんか。

対象となる方

高知県内で妊産褥婦さんのケアに携わっている看護職の皆さま

ご協力いただきたい内容

### 災害に備えるためのプログラムへの参加

- ①災害への備えに関する小冊子をお読みいただくこと(15~20分)
- ②2回のワークショップ(約2時間/1回)にご参加いただくこと  
\* 日程: 第1回目2017年11月10日(金)15:00~17:00  
第2回目2018年1月19日(金)15:00~17:00  
\* 場所: 高知県立大学池キャンパス看護学部棟C220
- ③自施設で2ヶ月の間にご参加いただけること



「災害の備え」に関する  
質問紙への回答  
(合計3回・約20分程度)

本プログラムは、研究の一環として行う予定で、10月上旬に高知県内の医療保健関連施設にご案内を郵送する予定です。なお、研究としてではなく、個人でワークショップのみにご参加いただくこともできます。ご関心のある方、質問のある方は、ご遠慮なく、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：高知県立大学看護学部 母性・助産看護学領域  
Mail: bousei.saigai@gmail.com